

令和 4 年度研究推進計画

学 校 名 江田島市立中町小学校

校長名 上本 真理 印

1 研究主題，研究内容・方法等について

①研究主題 「探究的な学びが生まれる生活科・総合的な学習の時間の在り方」
～単元構想図を生かした授業の創造～

②主題設定の理由

本校は、広島県教育委員会より「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」の指定を受け、今年度で2年目を迎える。昨年度の研究では、これまで培ってきた ICT 活用の実践を軸に、生活科及び総合的な学習の時間の充実をはかってきた。特に、ICT を活用した表現活動や思考場面の工夫に努め、児童の「思考力」「表現力」の育成に向けて取り組んだ。また、プロジェクト型学習（PBL）の考え方を基にして、「探究的な学び」となるよう単元計画を工夫し、授業改善に向けて取り組んだ。

授業の中に ICT を積極的に取り入れていくことで、児童の「表現」に対する意欲や自信、ICT 活用の技能が向上している。また、情報を整理・分析する過程で ICT を活用することで、比較、分類、関係付けなどの「思考」を促す活動を仕組むこともできた。しかしながら、「表現力」「思考力」は依然として本校の課題であり、継続して育成に向けて取り組んでいく必要がある。

今年度は、生活科及び総合的な学習の時間において、児童が熱中し、学習してきたことを活用できる単元構想を目指すことで、より児童の「思考力」「表現力」が向上すると考える。また、児童が主体となって自ら動き出す単元開発についても研究していきたい。

③研究仮説

生活科及び総合的な学習の時間において、プロジェクト型学習（PBL）の考え方を基にした単元構想図を工夫し、学習を展開することで、児童の「思考力」「表現力」、「主体性」が向上するだろう。

④研究内容

○プロジェクト型学習（PBL）の考え方を基にした単元構想図の作成

児童が実生活・実社会の課題に本気で向き合い、社会へ還元することを目指す単元構想と教科横断的な学びとなるカリキュラム・マネジメントにより、「思考力」「表現力」の向上を目指す。

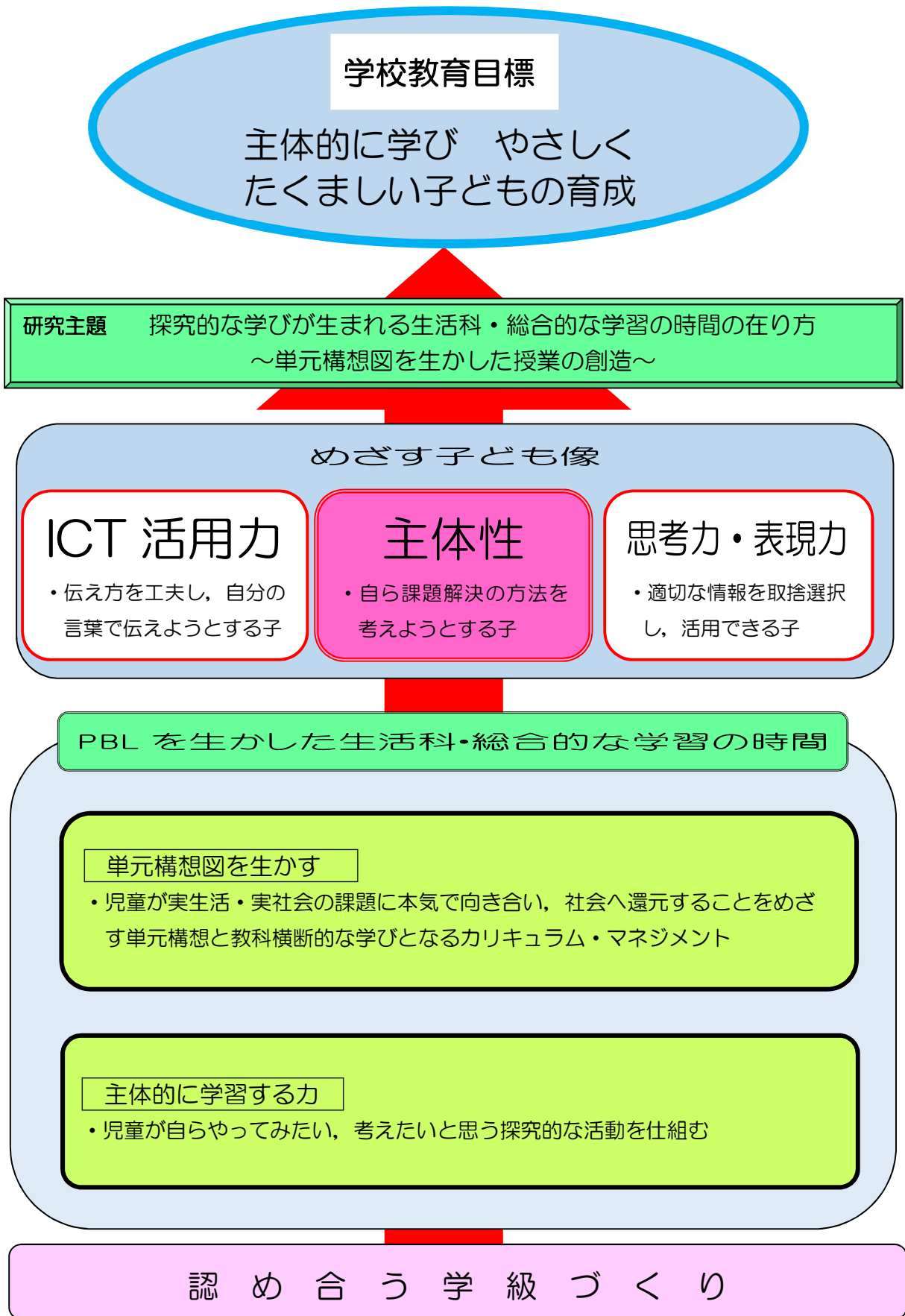
○主体的に学習する力

児童が熱中し、本気になって探究していくためには、教師側のファシリテーターとしての役割が重要である。児童の学びを促進し、知的好奇心を刺激することのできる単元開発をする。

2 検証計画

研究内容	検証の視点	検証方法	達成目標
「思考力」「表現力」の向上	取組を通して、児童の思考力・表現力が向上しているか	江田島市標準学力調査における同一集団の変容	目標値との差が昨年度を上回る
	取組を通して、児童の自己評価が向上しているか	全国学力・学習状況調査の「総合的な学習の時間」に関する項目をもとにした、校内のアンケートを全学年で実施。（年2回）	第1回<第2回
「主体性」の向上	探究的な活動を通して、児童の主体性が向上しているか。	各種コンクールに主体的に応募する児童の割合	50%以上

研究構想図



3 校内研修計画

月		研究内容	月		研究内容
4	1 9 (火)	全国学力・学習状況調査	9	1 3 (火)	研究授業②
	2 3 (土)	研究概要周知		2 7 (火)	研究授業③
	2 6 ~ 2 7 (水)	意識調査① (児童アンケート)	1 0	3 (月)	指導案検討・模擬授業
1 0 (火)	理論研修	1 8 (火)		研究授業④	
5	1 7 (火)	アンケート結果周知 生活・総合の単元構想図 「自分タイム」の進め方	1 1	2 7 (木)	研究授業④
	3 1 (火)	研究授業①		2 (水)	指導案検討・模擬授業
6	1 3 (月)	指導案検討・模擬授業	1 2	1 8 (金)	研究授業⑤
	2 4 (金)	研究授業②		2 2 (火)	研究授業⑥
8	5 (金)	理論研修	1	8 (木)	理論研修
	2 3 (火)	指導案検討・模擬授業		1 3 (金)	江田島市標準学力調査
				2 0 (金)	意識調査② (児童アンケート)
			2	2 6 (木)	アンケート結果周知
				上旬	標準学力調査分析
				9 (木)	研究のまとめ 次年度に向けて

4 研究公開の予定について

公開予定日	令和 5年 1月
タイプ	普及型
公開範囲	江田島市
公開内容等	探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業指定校 教科：生活科及び総合的な学習の時間

※タイプについては、校内研修ハンドブック（広島県教育委員会 平成 15 年 3 月）を参照。